

学校法人日本医科大学 ダイバーシティ推進支援募金について(概要)

1. 経緯

2015年に学校法人日本医科大学内に女性医師・研究者支援室が設置され、女性医師・研究者の育児、介護等との両立支援と研究支援を行ってきました。2019年4月にしあわせキャリア支援センターに改組され、同時期に文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境イニシアティブ(牽引型)」に採択されました。本事業では、女性研究者がその能力を最大限発揮できるよう、研究と出産・育児・介護等(ライフイベント)との両立や女性研究者の研究力向上を通じたリーダーの育成を一体的に推進するなど、研究環境のダイバーシティ実現に関する目標・計画を掲げ、その達成に向け取り組んでいます。

ダイバーシティ推進を目指して、まずは女性研究者支援からスタートし、本事業での成果をしっかりと分析し、次に繋げることが重要であると考えています。本事業は2024年度までの6年間の事業となりますが、補助金の交付期間は最初の3年のみで、残り3年は自主経費で事業を実施し、6年間の事業終了後も自主経費で取り組みを進める必要があるため、広く寄付を仰ぐことといたしました。

2. 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境イニシアティブ(牽引型)」の計画の概要

(1)実施期間：2019年度～2024年度の6年間

(2)実施機関(連携機関)：(代表機関)日本医科大学

(共同実施機関)日本獣医生命科学大学、アンファー株式会社

(3)実施経費：6年間の総額 232.7百万円

補助金 88.7百万円

自己負担額 144.0百万円 内訳：日本医科大学 101.3百万円

日本獣医生命科学大学 37.5百万円

アンファー株式会社 5.2百万円

(4)目標：1) 女性研究者の研究力の向上

2) 女性研究者の上位職への登用促進

3) 社会全体としてのダイバーシティ環境の実現

生命科学領域における基礎研究を推進し、癌や生活習慣病をはじめとした加齢関連疾患の病因・病態の解明に貢献する。また、産学間で連携して、臨床応用を視野に入れたトランスレーショナルリサーチを推進し、新規治療・予防戦略を確立し、未来型医療を先導する。以て、女性研究者の研究力を伸ばし、上位職への登用を促進する。並行して、ひろく地域社会に「いのちのつながり」を学ぶ機会を提供することにより、地域との連携を強化し、ダイバーシティ意識を根付かせ、次世代の研究者を育成することを目標とする。

<数値目標>

2025年3月までに

女性研究者在職比率

日本医科大学 30%

日本獣医生命科学大学 27%

(2019年度 26.1%)

(2019年度 21%)

女性の教授比率

日本医科大学 13.1%
(2019年度 6.9%)

日本獣医生命科学大学 20%
(2019年度 15%)

3. 寄付の用途

- ・ 研究とライフイベントの両立のための支援
研究支援員の雇用経費
- ・ 子育て支援の充実・拡充
病児・病後児保育等の利用補助
- ・ 女性研究者の研究力向上のための取組
英文校閲費用助成、外部研究費獲得支援(科研費申請書レビュー費用)
- ・ 女性研究者リーダー育成のための共同研究助成
女性研究者を研究代表者とする共同研究への研究費補助
- ・ ダイバーシティ推進に資するセミナー・講習会等の開催や情報発信
講師謝金、ウェブサイト、ニュースレターの発行 等

以上